

- ・工事請負契約
我孫子四丁目土質改良材の添
加量変更に伴う金額の増額
約千二百万円

- ・市道路の認定
開発行為により市に帰属した
道路等、十一路線

- ・損害賠償額の決定
市内中峠千九百七十二番地の
市道で発生した道路管理の瑕
疵に伴う損害賠償五千八百万
円

- ・二十八年九月一般会計補正予
算の認定
四億五千九百万円・二十七年
度各決算の認定

《主な争点》

我孫子市は、来年四月に手賀沼親水広場（水の館内）にオープン予定の農業拠点施設の管理・運営方針について、市の責任を明確にすることなどを考慮して、方針の変更を明らかにしました。

当初、農業拠点施設の管理運営については、今日までのアンテナショップの運営等の経緯から株式会社「あびベジ」に「行政財産の使用許可」として委任する予定でしたが、議会からの強い意見等で、市の責任の明確化や市民への説明責任を果たす

ために「指定管理者制度」を導入することが適当であると発表しました。

しかし、「指定管理者の選定にあたっては、我孫子市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第二条第一項の但し書きにより、公募によらない方法で「あびベジ」を選定したいと考えます」と所管する常任委員会で報告がありました。

今まで何度も議会が指摘をしているように、公平な負担を考える時、その対象が株式会社「あびベジ」であることに公平性が担保されていないのではないかと私たちは考えています。指定管理者制度の導入をする場合、あくまで公募が原則であります。あらためて、市内外に公募することが必要となっております。

*** 詳細は議会だより、市議会HPの録画等、いつでもみることが出来ます ***

<http://www.discussvision.net/abikosi/2.html>

賞金が支払われない、いきなり解雇されたなど労働問題で困ったら

なんでも労働相談

いこうよ れんごうに

0120-154-052

連合が
解決します!
まずはお電話
ください。

連合千葉では専任アドバイザーを配置した労働相談を受け付けております。

九月議会 印南宏の代表質問 (あびこ未来)

1. 都市行政
手賀沼観光施設誘導指針(案)と我孫子新田地区の地区計画(案)
2. 農業行政
・農業拠点施設整備事業 指定管理者制度の導入
3. 福祉行政
・障害者福祉 津久井やまゆり園事件
・児童虐待 児童虐待への今後の対応
4. 交通行政 成田線の利便性の向上
5. 産業行政 企業誘致の推進と住工混在解消策



■お知らせ■
《議会報告会を開催します!》

我孫子市議会は、議会基本条例第六条に基づき、第二回議会報告会を市内三会場で実施します。

今回は、二十八年九月議会に付託された議案等の審議経過や結果、その他に「議員定数」について、これまでの定数の推移

や現状、他の市議会の状況等を説明し、今後の議員定数の参考にすることを、市民の皆さんからご意見をいただきたいと考えています。事前申込みは不要です。(受付は開始三十分前から)奮ってのご参加をお願いします。

* 議会報告会のご案内【日時・会場】 *

- 10月22日(土)9時半~11時半
湖北台近隣センター 多目的ホール
- 10月22日(土)14時~16時
近隣センターふさの風 多目的ホール
- 10月23日(日)14時~16時
市民プラザ 多目的ホール



《我孫子市でパスポートの申請・受け取りができます!》

十月三日(月)から我孫子行政サービスセンター(けやきプラザ一階)にて、県下三番目のパスポート窓口が開設されました!

日時: 月~土曜日 午前九時~午後四時三十分 ※土曜日は受け取りのみ

交付までの日数: 申請日から土・日曜、祝日を除く、九日以降

対象者…①我孫子市に住民登録がある方 ②千葉県内の他市に住民登録をしている方 ③県外に住み登録はあるが、就学などにより継続的に千葉県内に居住している方

所属している「教育福祉常任委員会」での印南の主な質問骨子

○子どもの学習支援事業（生活困窮者自立支援法）

平成二十八年十一月から、市内の我孫子地区、湖北地区、布佐地区の三か所で生活困窮世帯等の中学生を対象に高校進学に向けて、学習支援を行うことが確定した。対象生徒に対する周知の方法などに留意して、目的に沿って事業が進むように学校側の支援も必要である。今後、小学生も対象とした学習支援も行ってほしい。

○我孫子市民体育館の利便性向上について

市民体育館のトレーニングルームが使いやすく広くなった。体育館の管理運営をしている指定管理者も、市民の健康増進に向けた運動習慣確立のために市内に折り込みチラシを入れるなど、取り組みを強化し、利用者が増えている。トレーニング

ームのさらなる拡大も必要ではないか。また、市民体育館までの足の確保、アクセスの改善に努めてほしい。

○子ども用AEDの装備を

中峠にある利根川ゆうゆう公園では、野球やサッカー等、子ども達が多く運動をしている。先日確認したところ、野外貸し出し用のAEDに子ども用パットが装備されていなかった。大人用でも緊急時に使用しても法律上もちろん問題は無いが、早急に子ども用を常備する必要があるのでは。

○国民健康保険、データヘルス計画について

データヘルス計画による取り組みは、健康寿命の延伸や医療費の軽減効果の高い保険事業を実施していくことにつながっている。データヘルス計画の進捗度は如何に。また、計画の認知度が低いので、周知の徹底に努めてほしい。



■宏はこう考える
これで良いのか、我孫子市は！
神奈川県立津久井やまゆり園
での事件を受けて

九月の我孫子市議会中、我孫子市手をつなぐ育成会から相模原市の津久井やまゆり園で発生した事件に関連して、市議会へお願いの文章が届きました。文章には、障害者支援施設の再点検と利用者等の安全確保、障害者基本法が規定する基本原則に関する市民の理解の増進（障害者基本法…すべての国民は障害の有無にかかわらず、等しく基本的な人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであること）、障害者が等しく基本的な人権を享有できるための必要な施策の推進に市議会も尽力してほしいとの内容でした。

七月二十六日に起きたこの殺傷事件は、知的障害児者はもとより、保護者・支援者や関係各方面、全国民に強い衝撃を今も与えています。私にとっても、大変ショックな悲しい事件です。「重度の知的障害者は生きていても無駄」と身勝手な考えを唱える犯人。容疑者は、能力だのお金だのを基準に人の命の価値、その優劣をつけようとする

考え方を持つ人間であることがとても悲しい。「勝手な理屈で人間の間に線を引く人間」。この考え方は、自分と意見が異なる者、国籍が異なる者、生まれ育ちを異なる者の命を否定する考えにつながっていきます。そんな人間が多く出てくるのが私は恐ろしいと強く感じました。

どうしたら良識あるコンセンサスを社会全体で固め直すことができるのか、そのことを真剣に考え、行動しなければならぬ今時だと思っています。まずは、今の政財界の要職やリーダーたちが人の間に勝手に線を引き、自分と違う側にいるものに対して、このような行為をしては絶対にいけないことであること、許されない行為であることを皆に強い意志で範を示していくことが必要だと思っています。



我孫子雑感

◆ふるさと納税は、実際の住所以外の自治体に寄付をすることで税額が控除されるという制度である。この制度は、寄附をした方に特典として送っている返礼品を豪華にすることで、ブルムとなっている。仕組みでは、地方自治体に寄付をする金額のうち二千円を超える部分について、個人住民税所得割の概ね二割を上限とする金額が、所得税と合わせて控除される。確かに、生まれ育った故郷を離れても、その地域に貢献することができるといふメリットはあるが、逆に我孫子市のように都市部にある自治体は、愛着がもたれにくく、寄附が集まりにくい傾向がある。

二十七年年度の決算審査で明らかになったことは、我孫子市にふるさと納税として寄附をいただいた金額は約一千八万円、逆に我孫子市民が他市にふるさと納税をすることによる住民税の減額は約六千七百八十五万円。差し引き、二十七年度は約五千七百万円の税収減となっている。この制度が続く限り市税の減少は続く。ふるさと納税に対する市の対策が急務となっている。

◆今年七月、千葉県は「健康格差」の実態と要因を分析した報告書をまとめた。それによると市町村別の平均寿命トップは男性部門で我孫子市八十・八歳と柏市、佐倉市と並んで県内トップとなっている。女性のトップは長柄町で八十七・二歳だった。逆に平均寿命の県内最下位は銚子市が男性七十七・八歳、女性八十四・九歳と共に県内最下位だった。その理由として、千葉県は「銚子などは塩分の過剰摂取が問題視されてきた地域。今回の調査結果を基に健康に対する意識啓発に役立ててほしい」としている。私の故郷は銚子。塩分の取り過ぎに要注意。

私が気にしているのは健康上の問題で日常生活が制限されない期間である「健康寿命」。千葉県の平均は男性が七十一・六歳、女性が七十三・五歳。元気に長生きして病気で苦しまないで死ぬこと、「ピンピンコロリ」は夢のまた夢となっている。

◆最近、皆さんは映画を観ていますか。私は洋画を良く観るのですが、今年も邦画、「シン・ゴジラ」や「君の名は。」が大きな反響を呼んでいる。ゴジラ映画なんて、ばかばかしいと思わないうで、是非、観てほしい。三・

一東日本大震災と福島原発事故、そして日米安全保障条約などが絡んだ日本の再構築をテーマとしたドラマとなっている。映画では成長し、巨大化するゴジラに対して、政治家は何も決められない。その中で、「決断力」を持った人材が現れる。ゴジラはいつかやってくる。私たちの住んでいる日本は地震を中心とした自然災害から免れることはできない。災害(ゴジラ)をすべて予防し、克服することはできない。

だからこそ、「諦めずに最後まで、この国を見捨てずにやっついこう」、「この国は、まだまだやれる」と感じる事ができる。映画は素晴らしい。

◆最近、私が読んだ本に、「子ども最貧国・日本」、「ルポ老人地獄」、「脱・貧困老後」、「下流老人」、「貧困世代」など、超高齢社会の日本を代表するような暗い本ばかりを読んでいることに気がついた。確かに世の中は格差が広がり、日本社会は少子高齢化が大きな問題となっている。しかし、暗くなつて物事を考えているだけでは何にも進まない。今、やれることを今やらなければ、後悔することになる。人口が減少する日本の経済を活

印南 宏 後援会・自宅

〒270-1108
 我孫子市布佐平和台 7-1-18
 TEL: 7189-1598



※後援会事務所の連絡先が変更になりました

E-MAIL: hiroinabiko@kca.biglobe.ne.jp
 ブログ: <http://hiroshi4649.at.webry.info/>
 HP <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~innami-hiroshi/>



宏

性化するには、女性や高齢者にもっと活躍してもらうことも必要である。

東葛地域で最も人口減少が進む我孫子市が、自立した都市として今後発展していくためには、まちに活力を生み出す産業や観光の振興を図り、交流人口の拡大や地域経済の活性化に繋げていくことが喫緊の課題である。今こそ原点にかえり、市政に挑んでいきたい。